

動物愛護に関する県民意識調査 報告書

令和5年10月

株式会社ジェック経営コンサルタント

目次

I. 調査の概要	
1. 調査の概要	1
(1) 調査の背景	
(2) 調査の目的	
(3) 調査の設計	
(4) 調査機関	
(5) 回収状況	
(6) 地域区分	
2. 調査対象の特性	2
(1) 年齢別	
(2) 住まい（市町村別）	
(3) 住まい（地域別）	
(4) 住居の種類	3
II. 調査の結果	4
問1. 動物愛護思想の基盤意識	
問2. 飼育する動物の種類	5
問3. 犬の入手方法	6
問4. 猫の入手方法	7
問5. 不妊・去勢手術の実施状況	8
問6. 不妊・去勢手術を実施していない理由	9
問7. 所有明示の実施状況	10
問8. 所有明示を実施していない理由	11
問9. 継続して動物を飼育する際の心配	12
問10. 継続して動物を飼育するための備え	13
問11. 現在、動物を飼育していない理由	14
問12. 今後の動物飼育の意向	16
問13. 動物愛護に関して行政が強化すべき取り組み	17
問14. 「富山県動物管理センター」の認知度	19
問15. 「富山県動物管理センター」ホームページの閲覧経験	20
問16. 「富山県動物管理センター」に充実を図る施設・設備の要望	21

I. 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の背景

富山県では『富山県動物愛護管理推進計画』に基づき、「人と動物の共生する社会」の実現に向けて、様々な取り組みを行っている。

その中核を担う施設である「富山県動物管理センター」は、立山町（常願寺川公園隣接）に犬猫の収容・譲渡・殺処分施設として昭和 57 年に設置。その後、殺処分頭数は大きく減少し、現在は犬猫の譲渡や飼い主への飼養方法の指導、動物愛護の普及啓発を中心に行っているが、このような愛護事業を行うには設備面や機能面での課題があり、現在、県では動物愛護の新たな拠点としての動物管理センターの役割について検討している。

(2) 調査の目的

県民の動物愛護に関する意識や実態を調査し、今後の県の施策などの基礎資料とするために実施するもの。

(3) 調査の設計

- ア. 調査地域 : 富山県全域
- イ. 調査対象 : 満 18 歳以上の男女
- ウ. 標本数 : 2,000 名
- エ. 抽出方法 : 県内 15 市町村の住民基本台帳から無作為抽出
- オ. 調査期間 : 令和 5 年 8 月 30 日 (水) ~ 9 月 18 日 (月)
- カ. 調査方法 : 郵送で送付し、WEB ページで回答

(4) 調査機関

株式会社ジェック経営コンサルタント

(5) 回収状況

- ア. 標本数 : 2,000 件
- イ. 回収数 : 558 件 (回収率 27.9%)

(6) 地域区分

富山県内の市町村を、市または郡を単位にして、次の 4 地域に分類した。

- (ア) 富山地域 = 富山市
- (イ) 高岡地域 = 高岡市、氷見市、射水市
- (ウ) 新川地域 = 魚津市、滑川市、黒部市、中新川郡、下新川郡
- (エ) 砺波地域 = 砺波市、小矢部市、南砺市

2. 調査対象の特性

(1) 年齢別

	回答数	割合
18～29歳	87	15.6%
30～39歳	113	20.3%
40～49歳	143	25.6%
50～59歳	116	20.8%
60～69歳	75	13.4%
70歳以上	24	4.3%
合計	558	100.0%

(2) 住まい（市町村別）

	回答数	割合
富山市	235	42.1%
高岡市	78	14.0%
魚津市	18	3.2%
氷見市	13	2.3%
滑川市	14	2.5%
黒部市	19	3.4%
砺波市	37	6.6%
小矢部市	24	4.3%
南砺市	26	4.7%
射水市	57	10.2%
舟橋村	2	0.4%
上市町	10	1.8%
立山町	8	1.4%
入善町	10	1.8%
朝日町	7	1.3%
合計	558	100.0%

(3) 住まい（地域別）

	回答数	割合
富山地域	235	42.1%
高岡地域	148	26.5%
新川地域	88	15.8%
砺波地域	87	15.6%
合計	558	100.0%

(4) 住居の種類

	回答数	割合
持ち家（一戸建て）	531	95.1%
持ち家（共同住宅）	8	1.4%
持ち家（長屋建・その他）	0	0.0%
民営の賃貸住宅（設備専用）	9	1.6%
民営の賃貸住宅（設備共用）	2	0.4%
公営の賃貸住宅	0	0.0%
都市再生機構・公社等の賃貸住宅	0	0.0%
給与住宅（社宅・公務員住宅など）	2	0.4%
借間	6	1.1%
	558	100.0%

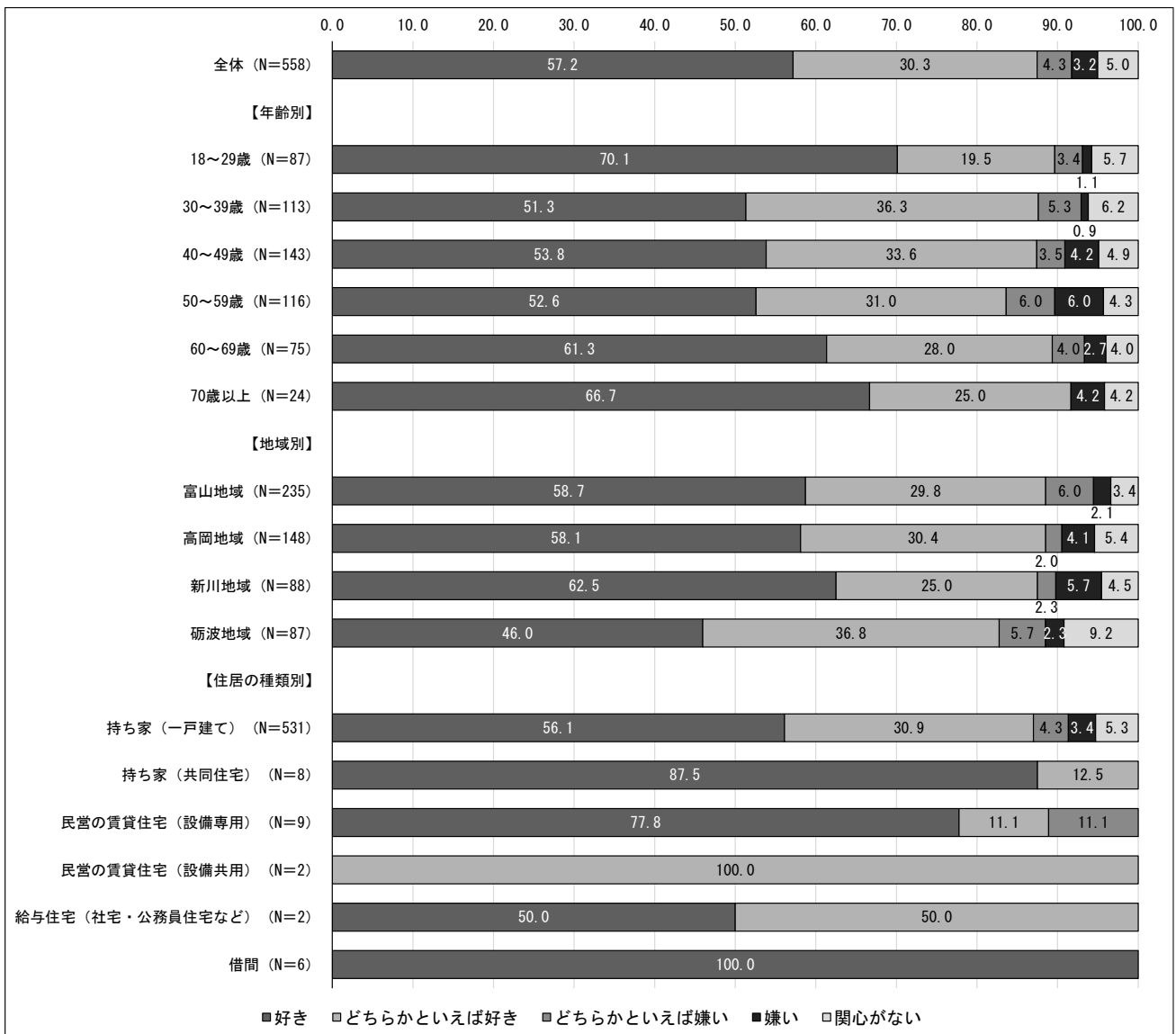
II. 調査の結果

問1. あなたは動物が好きですか。

動物の好き嫌い（動物愛護思想の基盤意識）について、好意的（「好き」と「どちらかといえば好き」を合せた割合）は、87.5%を占めており、「好き」が57.2%となっている。

年齢別にみると、18～19歳は「好き」が70.1%と最も高くなっている。

図表. 動物愛護思想の基盤意識: 単位 (%)



問2. 現在、あなたは動物を飼育していますか(複数選択可)。

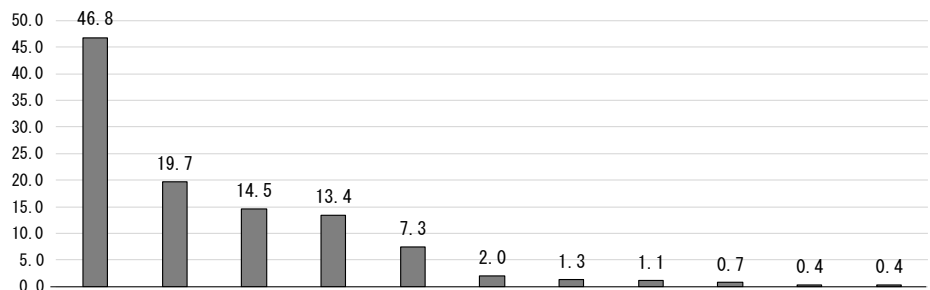
現在の動物の飼育状況は、飼育していない(「以前は飼育していたが、現在は飼育していない」(46.8%)と「今まで一度も飼育したことがない」(19.7%)を合算した割合)が66.5%となっており、約2割が「今まで一度も飼育したことがない」となっている。

一方で、現在飼育している動物では、「猫」が14.5%で最も高く、次いで「犬」(13.4%)、魚類(7.3%)となっている。

年齢別にみると、18～29歳、60～69歳は、現在飼育している動物として「犬」(19.5%、24.0%)が「猫」(16.1%、10.7%)より高くなっている。

地域別にみると、現在飼育している動物として、新川地域では「猫」(22.7%)、砺波地域では「犬」(19.5%)が他の地域と比べて高くなっている。

図表. 飼育する動物の種類:単位(%)



	現在以前は飼育していたが、 な 今 まで 一度も 飼育した ことが	猫	犬	魚類	爬虫類	ウサギ	鳥類	両生類	モルモット・ハムスター	その他の哺乳類
全体 (N=558)	46.8	14.5	13.4	7.3	2.0	1.3	1.1	0.7	0.4	0.4
【年齢別】										
18～29歳 (N=87)	29.9	16.1	19.5	5.7	1.1	2.3	0.0	0.0	0.0	1.1
30～39歳 (N=113)	45.1	15.9	7.1	8.8	2.7	2.7	1.8	0.9	0.0	0.0
40～49歳 (N=143)	54.5	14.0	9.1	7.7	2.8	0.0	0.7	1.4	0.0	0.7
50～59歳 (N=116)	50.9	14.7	12.9	6.0	2.6	1.7	1.7	0.0	0.9	0.0
60～69歳 (N=75)	48.0	10.7	24.0	9.3	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3	0.0
70歳以上 (N=24)	45.8	16.7	16.7	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【地域別】										
富山地域 (N=235)	45.5	14.0	12.8	6.8	2.6	1.7	1.3	0.9	0.9	0.4
高岡地域 (N=148)	49.3	12.8	12.2	8.1	1.4	2.0	1.4	0.7	0.0	0.0
新川地域 (N=88)	45.5	22.7	11.4	9.1	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1
砺波地域 (N=87)	47.1	10.3	19.5	5.7	2.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0

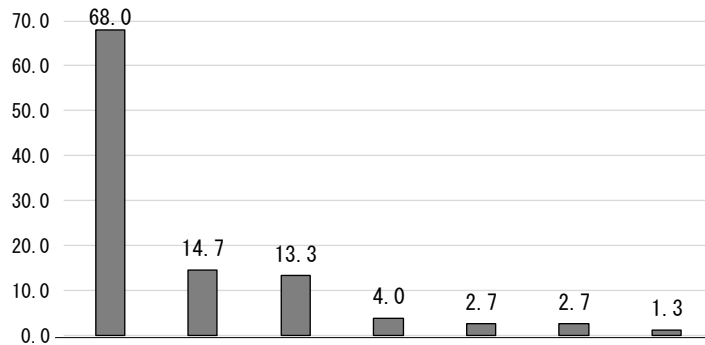
【犬を飼っている方のみ】

問3. 犬はどこで入手しましたか(複数選択可)。

飼育する犬の入手方法は、「ペットショップ等販売店」が約7割(68.0%)と最も高く、次いで「ブリーダーから」(14.7%)、「知人・友人から」(13.3%)の順となっている。

一方で、その他の入手先は5%未満となっている。

図表. 飼育する犬の入手方法::単位(%)



	ペットショップ等販売店	ブリーダーから	知人・友人から	動物愛護団体から	拾った・迷い込んできた	自家繁殖(飼い犬が生んだ)	センター、管理センター、保健所から、厚生
全体 (N=75)	68.0	14.7	13.3	4.0	2.7	2.7	1.3
【年齢別】							
18~29歳 (N=17)	88.2	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
30~39歳 (N=8)	50.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
40~49歳 (N=13)	69.2	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0
50~59歳 (N=15)	73.3	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
60~69歳 (N=18)	61.1	11.1	22.2	5.6	0.0	0.0	5.6
70歳以上 (N=4)	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【地域別】							
富山地域 (N=30)	76.7	13.3	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3
高岡地域 (N=18)	61.1	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0
新川地域 (N=10)	40.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
砺波地域 (N=17)	76.5	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

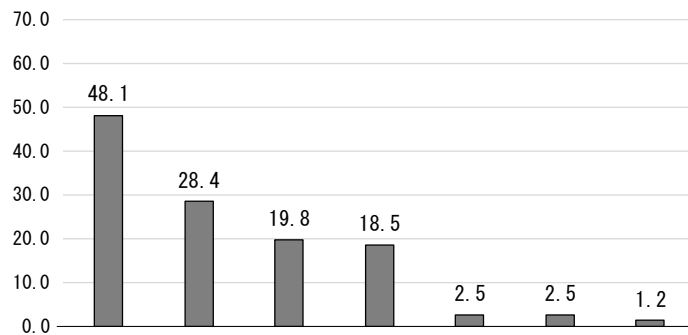
【猫を飼っている方のみ】

問4. 猫はどこで入手しましたか(複数選択可)。

飼育する猫の入手方法は、「拾った・迷い込んできた」が48.1%と最も高く、次いで、「知人・友人から」(28.4%)、「動物愛護団体から」(19.8%)、「ペットショップ等販売店」(18.5%)の順となっている。

一方で、その他の入手先は5%未満となっている。

図表. 飼育する猫の入手方法(単位:%)



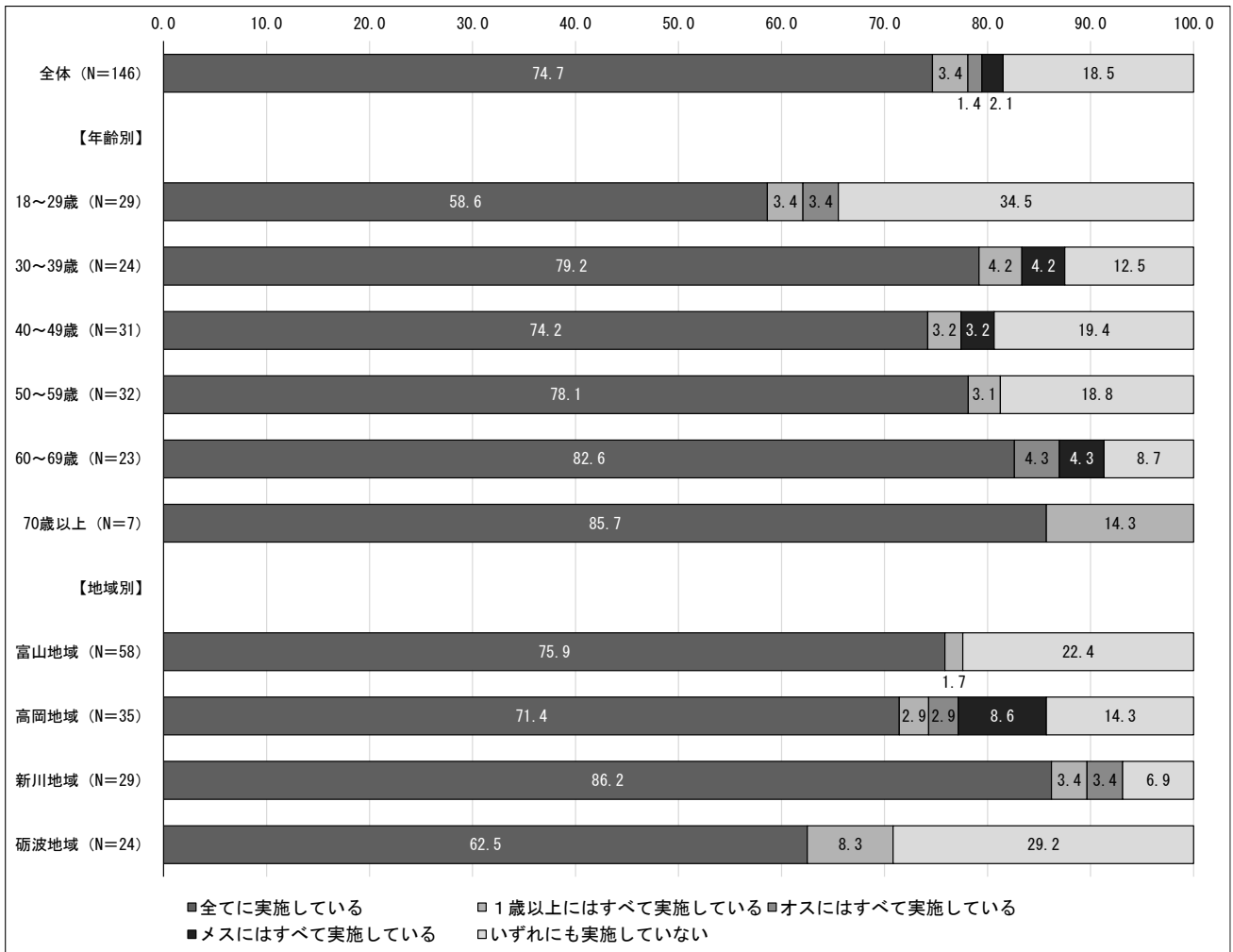
	拾った・迷い込んできた	知人・友人から	動物愛護団体から	ペットショップ等販売店	ブリーダーから	自家繁殖(飼い猫が生んだ)	動物管理センター、保健所から
全体 (N=81)	48.1	28.4	19.8	18.5	2.5	2.5	1.2
【年齢別】							
18~29歳 (N=14)	42.9	42.9	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0
30~39歳 (N=18)	55.6	27.8	27.8	11.1	5.6	5.6	0.0
40~49歳 (N=20)	45.0	15.0	35.0	30.0	0.0	0.0	0.0
50~59歳 (N=17)	35.3	35.3	5.9	29.4	0.0	0.0	5.9
60~69歳 (N=8)	75.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
70歳以上 (N=4)	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【地域別】							
富山地域 (N=33)	48.5	30.3	18.2	21.2	6.1	0.0	3.0
高岡地域 (N=19)	36.8	10.5	5.3	21.1	0.0	5.3	0.0
新川地域 (N=20)	15.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
砺波地域 (N=9)	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0

問5. 飼っている犬・猫に不妊・去勢手術を実施していますか。

飼育する犬・猫に対する不妊・去勢手術の実施状況は、「全てに実施している」が7割以上(74.7%)を占めている。

一方で、「いずれにも実施していない」が約2割(18.5%)となっている。

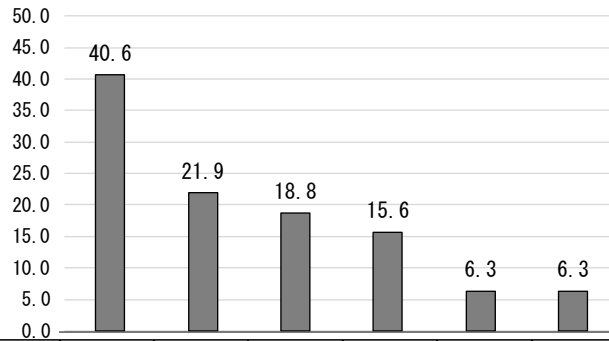
図表. 飼育する犬・猫に対する不妊・去勢手術の実施状況:単位(%)



問6. 不妊・去勢手術を実施していない理由は何ですか(複数選択可)。

飼育する犬・猫に対して不妊・去勢手術を実施しない理由は、「必要だとは思わないから」が40.6%と最も高く、次いで「経済的な理由」(21.9%)、「かわいそうだから」(15.6%)の順となっている。一方で、「今後実施予定」が約2割(18.8%)となっている。

図表. 飼育する犬・猫に対して不妊・去勢手術を実施しない理由:単位(%)



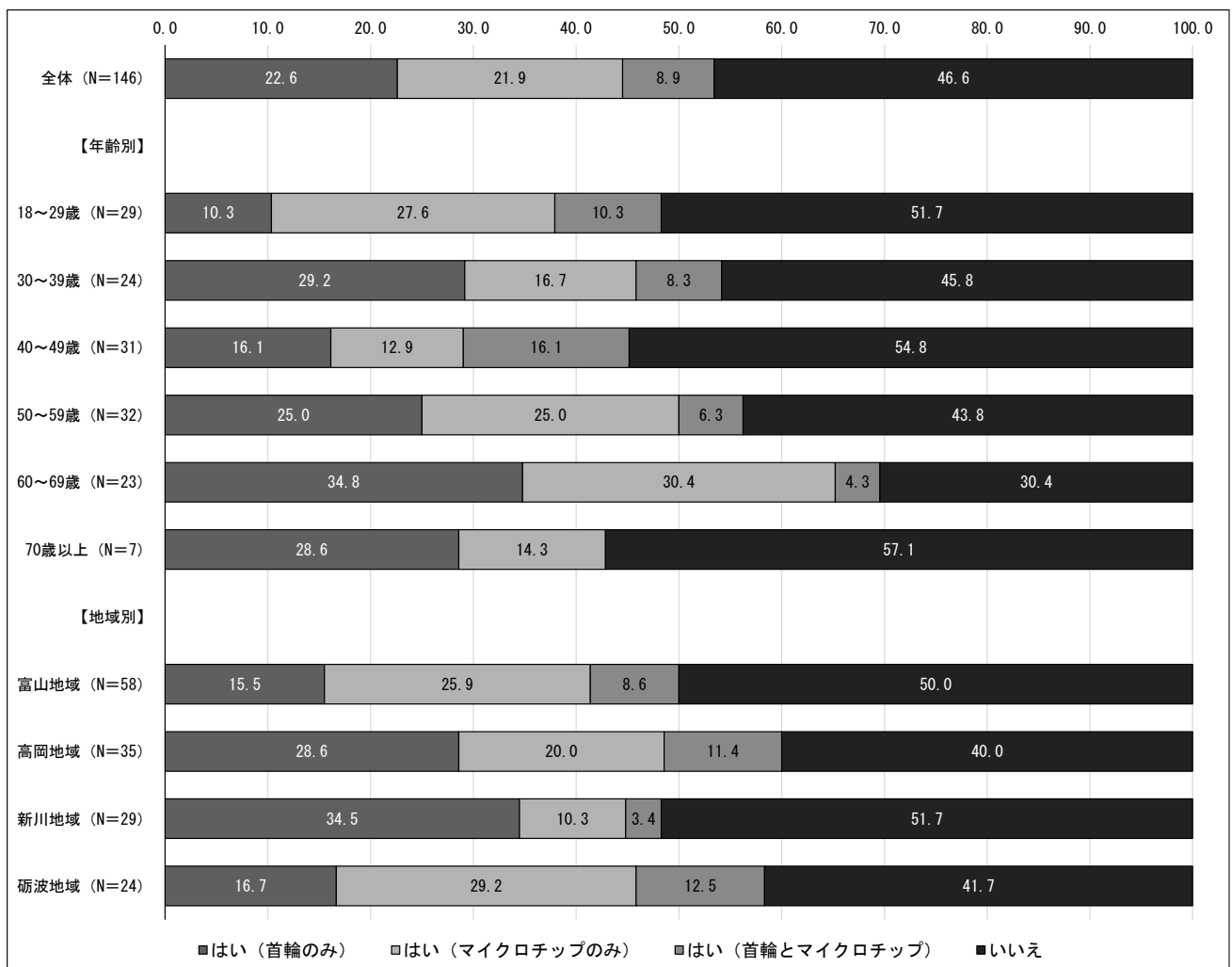
	必要だとは思わないから	経済的な理由	今後実施予定	かわいそうだから	子犬や子猫を産ませたいから	難しい (動物の健康上の問題のため手術が)
全体 (N=32)	40.6	21.9	18.8	15.6	6.3	6.3
【年齢別】						
18~29歳 (N=11)	27.3	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1
30~39歳 (N=4)	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
40~49歳 (N=7)	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0
50~59歳 (N=6)	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
60~69歳 (N=4)	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
70歳以上 (N=0)	—	—	—	—	—	—
【地域別】						
富山地域 (N=13)	46.2	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7
高岡地域 (N=9)	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	11.1
新川地域 (N=3)	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
砺波地域 (N=7)	42.9	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0

問7. 迷子や災害などのもしもの時に備えるため、令和4年6月からペットショップなどで販売される犬猫についてマイクロチップの装着が義務化されましたが、飼っている犬・猫の所有明示(所有者がいると分かる措置…鑑札や迷子札がついた首輪等)をしていますか。

飼育する犬・猫の所有明示の実施状況は、「いいえ (していない)」が4割以上 (46.6%) と最も高くなっている。

一方で、「首輪のみ」(22.6%)、「マイクロチップのみ」(21.9%) と片方を実施している割合は、それぞれ2割程度、「首輪とマイクロチップ」の両方を実施しているのは1割未満 (8.9%) となっている。

図表. 飼育する犬・猫の所有明示の実施状況: 単位 (%)

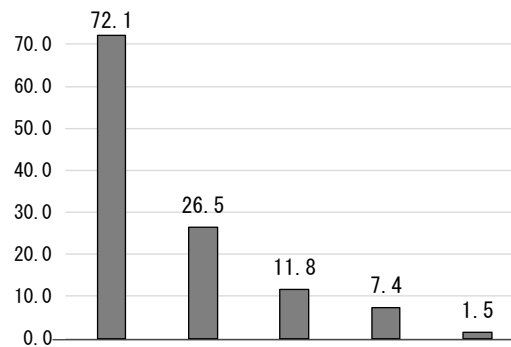


問8. 所有明示をしていない理由(複数選択可)

飼っている犬・猫に所有明示を実施していない理由は、「室内で飼っているので必要ない」が7割以上(72.1%)を占めている。

一方で、「特に理由がない」が26.5%となっている。

図表. 飼っている犬・猫に所有明示を実施していない理由:単位(%)



	室内で飼っているので必要ない	特に理由はない	首輪が何かにつかかると怖いから	マイクログリップを入れるのはいやだから	迷子札に個人情報を書きたくないから
全体 (N=68)	72.1	26.5	11.8	7.4	1.5
【年齢】					
18~29歳 (N=15)	66.7	26.7	6.7	6.7	0.0
30~39歳 (N=11)	72.7	18.2	18.2	18.2	9.1
40~49歳 (N=17)	70.6	29.4	23.5	5.9	0.0
50~59歳 (N=14)	71.4	35.7	7.1	0.0	0.0
60~69歳 (N=7)	85.7	14.3	0.0	14.3	0.0
70歳以上 (N=4)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
【地域別】					
富山地域 (N=29)	82.8	17.2	10.3	6.9	3.4
高岡地域 (N=14)	71.4	28.6	7.1	21.4	0.0
新川地域 (N=15)	73.3	20.0	26.7	0.0	0.0
砺波地域 (N=10)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0

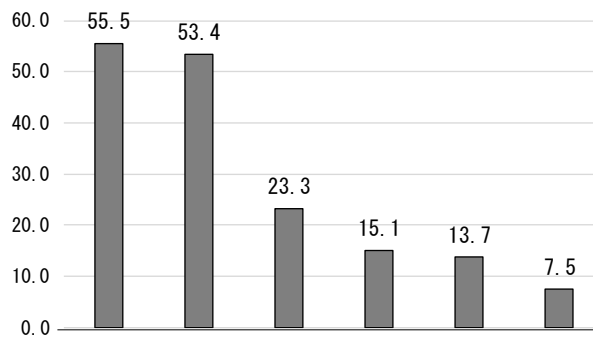
【犬・猫を飼っている方のみ】

問9. 動物を飼いつけることに関して心配していることはありますか(複数選択可)。

継続して動物を飼育する際の心配事は、「災害時に同行避難ができるかどうか」(55.5%)、「動物の病気や死亡により、つらい思いをするのではないか」(53.4%)が5割以上と高くなっている。

一方で、「いいえ(特に心配していることはない)」は15.1%となっている。

図表. 継続して動物を飼育する際の心配事: 単位(%)



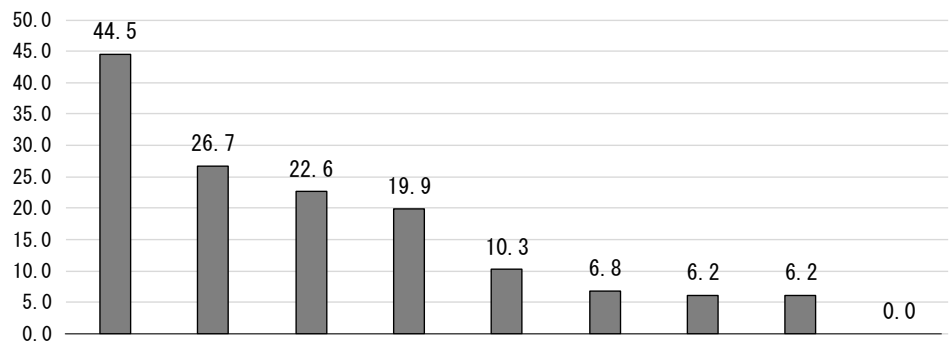
	災害時に同行避難ができるか	動物の病気や死亡により、つらい思いをするのではないか	動物が病気になったり高齢になることで、経済的負担が重くなるか	いいえ(特に心配していることはない)	転居や自分が高齢になることにより、世話ができなくなることではないか	近い隣に迷惑がかかるのでは
全体 (N=146)	55.5	53.4	23.3	15.1	13.7	7.5
【年齢】						
18~29歳 (N=29)	44.8	69.0	10.3	13.8	6.9	13.8
30~39歳 (N=24)	62.5	50.0	25.0	16.7	12.5	8.3
40~49歳 (N=31)	67.7	35.5	25.8	16.1	19.4	3.2
50~59歳 (N=32)	59.4	68.8	28.1	9.4	12.5	6.3
60~69歳 (N=23)	43.5	47.8	34.8	21.7	13.0	4.3
70歳以上 (N=7)	42.9	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3
【地域別】						
富山地域 (N=58)	56.9	58.6	24.1	13.8	10.3	12.1
高岡地域 (N=35)	40.0	48.6	31.4	8.6	17.1	11.4
新川地域 (N=29)	58.6	55.2	6.9	24.1	10.3	0.0
砺波地域 (N=24)	70.8	45.8	29.2	16.7	20.8	0.0

問 10. 問9の心配に対し、用意していること、備えていること(複数選択可)。

継続して動物を飼育するための備えは、「特になし」が4割以上(44.5%)と最も高く、次いで「動物の病気や介護について情報を収集している」(26.7%)、「動物にかかる医療費などに備え、保険に加入したり貯金をしている」(22.6%)、「災害時に備え、動物の防災用品(キャリー、フードなど)」を持ち出せるようにしている」(19.9%)の順となっている。

一方で、「自分に何かあった時に備え、遺言、負担付遺贈や信託契約などを準備している」との回答は、なかった。

図表. 継続して動物を飼育するための備え:単位(%)



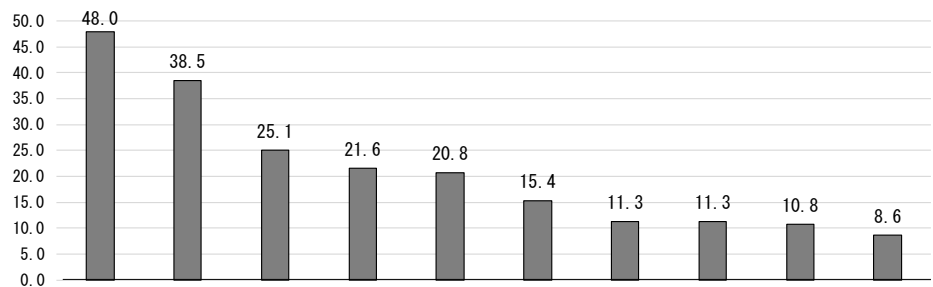
	特になし	動物の病気や介護について情報を収集している	動物にかかる医療費などに備え、保険に加入したり貯金をしている	災害時に備え、動物の防災用品(キャリー、フードなど)を持ち出せるようにしている	飼い主同士の交流を行っている	災害時に備え、動物の防災用品(キャリー、フードなど)を持ち出せるようにしている	自分が高齢になった時に、自分が高齢になった時に、飼育をサポーターに任せる人を用意している	災害時に備え、避難先を想定・用意している	自分に何かあった時に備え、遺言、負担付遺贈や信託契約などを準備している
全体 (N=146)	44.5	26.7	22.6	19.9	10.3	6.8	6.2	6.2	0.0
【年齢】									
18~29歳 (N=29)	48.3	24.1	17.2	3.4	24.1	3.4	3.4	3.4	0.0
30~39歳 (N=24)	41.7	33.3	20.8	25.0	4.2	4.2	0.0	8.3	0.0
40~49歳 (N=31)	54.8	16.1	19.4	29.0	12.9	9.7	6.5	16.1	0.0
50~59歳 (N=32)	28.1	46.9	37.5	18.8	3.1	3.1	12.5	3.1	0.0
60~69歳 (N=23)	52.2	17.4	17.4	21.7	8.7	13.0	4.3	0.0	0.0
70歳以上 (N=7)	42.9	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
【地域別】									
富山地域 (N=58)	39.7	25.9	19.0	22.4	13.8	6.9	3.4	8.6	0.0
高岡地域 (N=35)	51.4	25.7	22.9	11.4	11.4	5.7	5.7	2.9	0.0
新川地域 (N=29)	41.4	27.6	20.7	24.1	0.0	13.8	10.3	3.4	0.0
砺波地域 (N=24)	50.0	29.2	33.3	20.8	12.5	0.0	8.3	8.3	0.0

【現在動物を飼っていない方のみ】

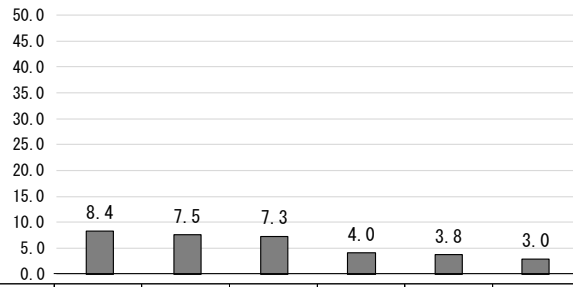
問 11. 飼っていない理由は何ですか(複数選択可)。

現在動物を飼育していない理由は、「動物が死んで、つらい思いをしたくないから」が48.0%と最も高く、次いで「世話をする時間がないから」(38.5%)、「最後まで世話をできない可能性があるから」(25.1%)、「日常の飼育管理にお金がかかるから」(21.6%)、「長期外出できなくなるから」(20.8%)の順となっている。

図表. 現在動物を飼育していない理由: 単位(%)



	動物が死んで、つらい思いをしたくないから	世話をする時間がないから	最後まで世話をできない可能性があるから	日常の飼育管理にお金がかかるから	長期外出できなくなるから	自分や家族が動物アレルギーだから	家族が反対するから	動物病院の治療費が高いから	動物を飼えない住宅環境だから	動物が高価だから
全体 (N=371)	48.0	38.5	25.1	21.6	20.8	15.4	11.3	11.3	10.8	8.6
【年齢別】										
18～29歳 (N=53)	37.7	35.8	18.9	24.5	20.8	18.9	24.5	9.4	22.6	13.2
30～39歳 (N=77)	40.3	54.5	22.1	33.8	20.8	18.2	9.1	18.2	10.4	15.6
40～49歳 (N=103)	50.5	43.7	19.4	22.3	23.3	19.4	11.7	13.6	5.8	10.7
50～59歳 (N=75)	58.7	32.0	26.7	17.3	16.0	10.7	4.0	6.7	9.3	1.3
60～69歳 (N=46)	45.7	19.6	41.3	10.9	21.7	4.3	15.2	8.7	15.2	0.0
70歳以上 (N=17)	58.8	23.5	41.2	0.0	23.5	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9
【地域別】										
富山地域 (N=157)	51.0	35.7	23.6	22.9	21.0	18.5	12.1	11.5	9.6	8.3
高岡地域 (N=101)	49.5	38.6	23.8	22.8	20.8	15.8	11.9	8.9	8.9	7.9
新川地域 (N=55)	45.5	50.9	23.6	16.4	23.6	10.9	9.1	14.5	16.4	9.1
砺波地域 (N=58)	39.7	34.5	32.8	20.7	17.2	10.3	10.3	12.1	12.1	10.3

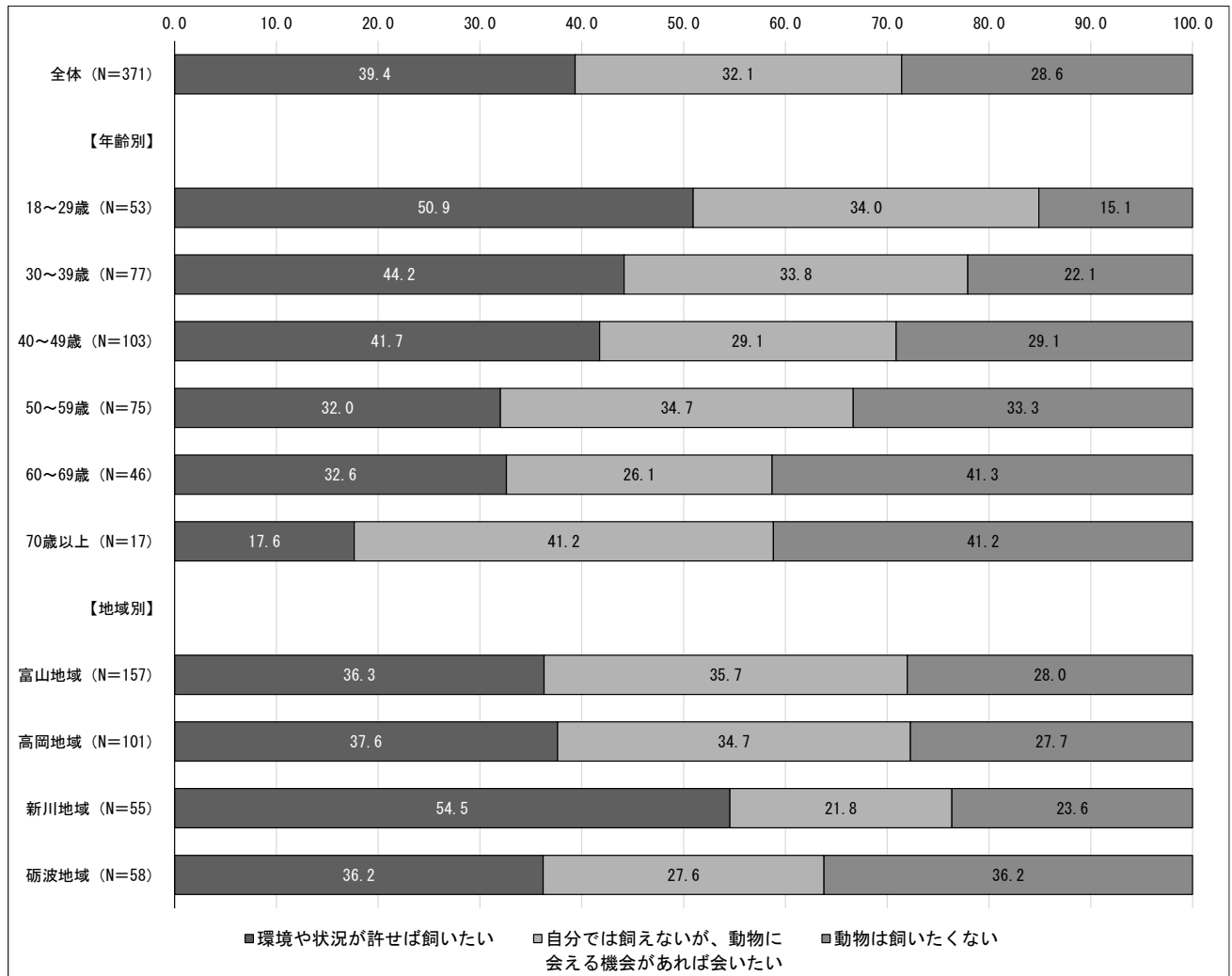


	動物は好きではないから	その他	動物の飼育方法がよく分からないから	亡骸を処理することができないから	近所への迷惑や、近所からの苦情が心配だから	転居する可能性があるから
全体 (N=371)	8.4	7.5	7.3	4.0	3.8	3.0
【年齢別】						
18～29歳 (N=53)	11.3	5.7	7.5	3.8	3.8	7.5
30～39歳 (N=77)	3.9	7.8	13.0	3.9	2.6	3.9
40～49歳 (N=103)	11.7	8.7	9.7	1.0	3.9	1.0
50～59歳 (N=75)	9.3	5.3	2.7	6.7	5.3	2.7
60～69歳 (N=46)	4.3	10.9	2.2	6.5	4.3	0.0
70歳以上 (N=17)	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9
【地域別】						
富山地域 (N=157)	7.6	8.3	8.3	3.8	4.5	2.5
高岡地域 (N=101)	5.9	6.9	5.9	4.0	4.0	4.0
新川地域 (N=55)	14.5	3.6	7.3	5.5	5.5	3.6
砺波地域 (N=58)	8.6	10.3	6.9	3.4	0.0	1.7

問 12. 今後動物を飼いたいと思いますか。

今後の動物飼育の意向は、「環境や状況が許せば飼いたい」(39.4%)、「自分では飼えないが、動物に会える機会があれば会いたい」(32.1%)、「動物は飼いたくない」(28.6%)となっている。

図. 今後の動物飼育の意向: 単位(%)



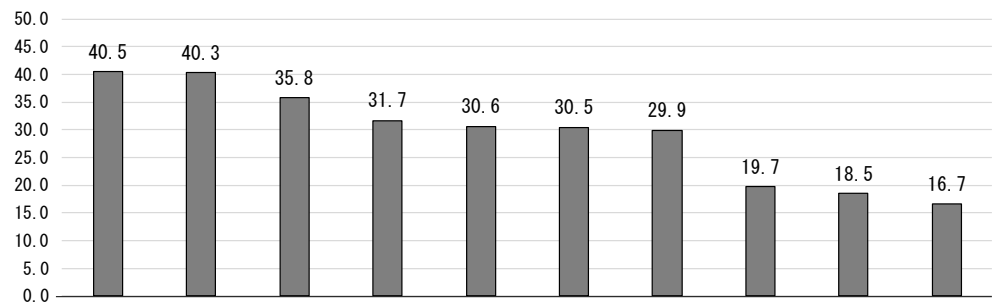
【全員回答】

問 13. 今後、行政は動物愛護に関してどのような取り組みを強化すべきだと考えますか【5つまで選択可】。

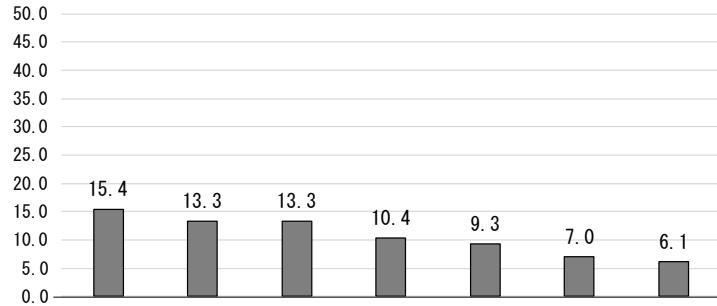
動物愛護に関して行政が強化すべき取り組みは、「行政が引き取ったり保護した犬や猫への譲渡事業」（40.5%）、「飼えなくなった犬や猫の引き取りを求める飼い主への指導」（40.3%）が約4割と高くなっている。

年齢別にみると、70歳以上は「飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術への支援」、「動物取扱業者への指導」（ともに37.5%）が最も高くなっている。

図表. 動物愛護に関して行政が強化すべき取り組み: 単位(%)



	犬や猫が引き取ったり保護した事業	飼い主への指導	犬の登録・狂犬病予防注射の推進	動物虐待を正しく認識する指導	不妊・去勢手術への支援	動物取扱業者への指導	飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術への支援	放浪している犬の保護	危険な動物を飼育する人や施設への監視	犬や猫の正しい飼い方を教える講習会の開催
全体 (N=558)	40.5	40.3	35.8	31.7	30.6	30.5	29.9	19.7	18.5	16.7
【年齢別】										
18～29歳 (N=87)	31.0	46.0	39.1	27.6	23.0	18.4	32.2	20.7	11.5	16.1
30～39歳 (N=113)	41.6	42.5	34.5	29.2	27.4	38.1	31.9	19.5	19.5	15.0
40～49歳 (N=143)	40.6	36.4	31.5	35.7	33.6	35.0	27.3	19.6	17.5	15.4
50～59歳 (N=116)	47.4	41.4	35.3	37.1	31.9	31.0	30.2	14.7	17.2	20.7
60～69歳 (N=75)	42.7	41.3	44.0	29.3	34.7	21.3	29.3	24.0	29.3	14.7
70歳以上 (N=24)	29.2	25.0	33.3	16.7	37.5	37.5	29.2	29.2	16.7	20.8
【地域別】										
富山地域 (N=235)	37.9	40.4	39.1	28.5	34.5	27.2	33.2	18.7	19.6	16.6
高岡地域 (N=148)	42.6	41.2	33.1	31.1	29.7	31.1	29.1	20.3	14.9	18.9
新川地域 (N=88)	38.6	43.2	33.0	34.1	25.0	35.2	28.4	17.0	17.0	17.0
砺波地域 (N=87)	46.0	35.6	34.5	39.1	27.6	33.3	24.1	24.1	23.0	12.6



	動物愛護団体との協力、ボランティアの育成	被災動物の受け入れや救護への備え	地域猫活動（※2）の推進	飼い主のいない猫に餌を与える人への指導	アニマルセラピーなどの福祉・医療などへの動物活用	ペットの防災対策の啓発	ペットの飼い方等に助言を行う指導者の育成
全体 (N=558)	15.4	13.3	13.3	10.4	9.3	7.0	6.1
【年齢別】							
18～29歳 (N=87)	12.6	12.6	11.5	4.6	9.2	8.0	11.5
30～39歳 (N=113)	16.8	11.5	15.9	12.4	9.7	7.1	5.3
40～49歳 (N=143)	18.9	13.3	13.3	11.2	6.3	7.7	5.6
50～59歳 (N=116)	9.5	12.1	12.1	12.9	16.4	6.9	3.4
60～69歳 (N=75)	17.3	17.3	10.7	5.3	5.3	5.3	6.7
70歳以上 (N=24)	20.8	16.7	20.8	20.8	4.2	4.2	4.2
【地域別】							
富山地域 (N=235)	16.2	12.8	11.1	11.1	8.9	6.8	7.7
高岡地域 (N=148)	13.5	12.2	17.6	10.8	12.2	6.8	3.4
新川地域 (N=88)	19.3	12.5	13.6	9.1	6.8	6.8	9.1
砺波地域 (N=87)	12.6	17.2	11.5	9.2	8.0	8.0	3.4

※1 動物取扱業：販売（ペットショップ、ブリーダー）、保管（ホテル、美容室）、展示（猫カフェ、動物園等）、貸出、訓練などの業態がある。

※2 地域猫活動：地域に住み着いている飼い主のいない猫を、住民の理解と協力のもと、地域猫活動団体が適正に飼養・管理することで、猫の数を増やさないようにし、ふん尿被害などのトラブルを解決していく活動。

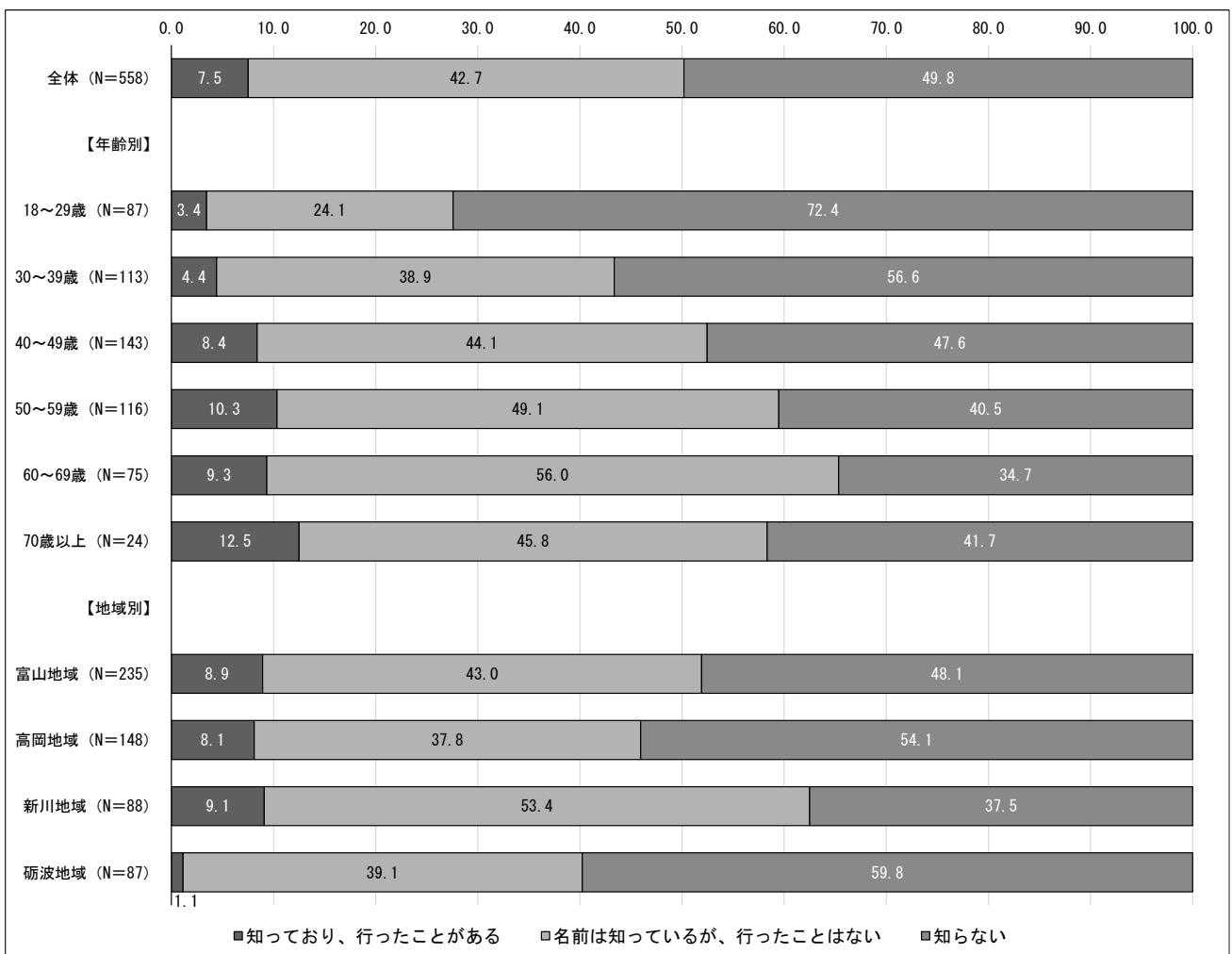
問 14. 保護犬・猫の譲渡等を行っている「富山県動物管理センター」を知っていますか。

「富山県動物管理センター」の認知度は、「知っており、行ったことがある」が7.5%、「名前は知っているが、行ったことはない」が42.7%、「知らない」が49.8%となっている。

年齢別にみると、「知っている（認知度がある）」（「知っており、行ったことがある」と「名前は知っているが、行ったことはない」を合算した割合）は、18～29歳が27.5%と他の年代と比べて低くなっている。

地域別にみると、新川地域は「知っている（認知度がある）」が62.5%と他の地域と比べて高くなっている。

図. 「富山県動物管理センター」の認知度: 単位 (%)



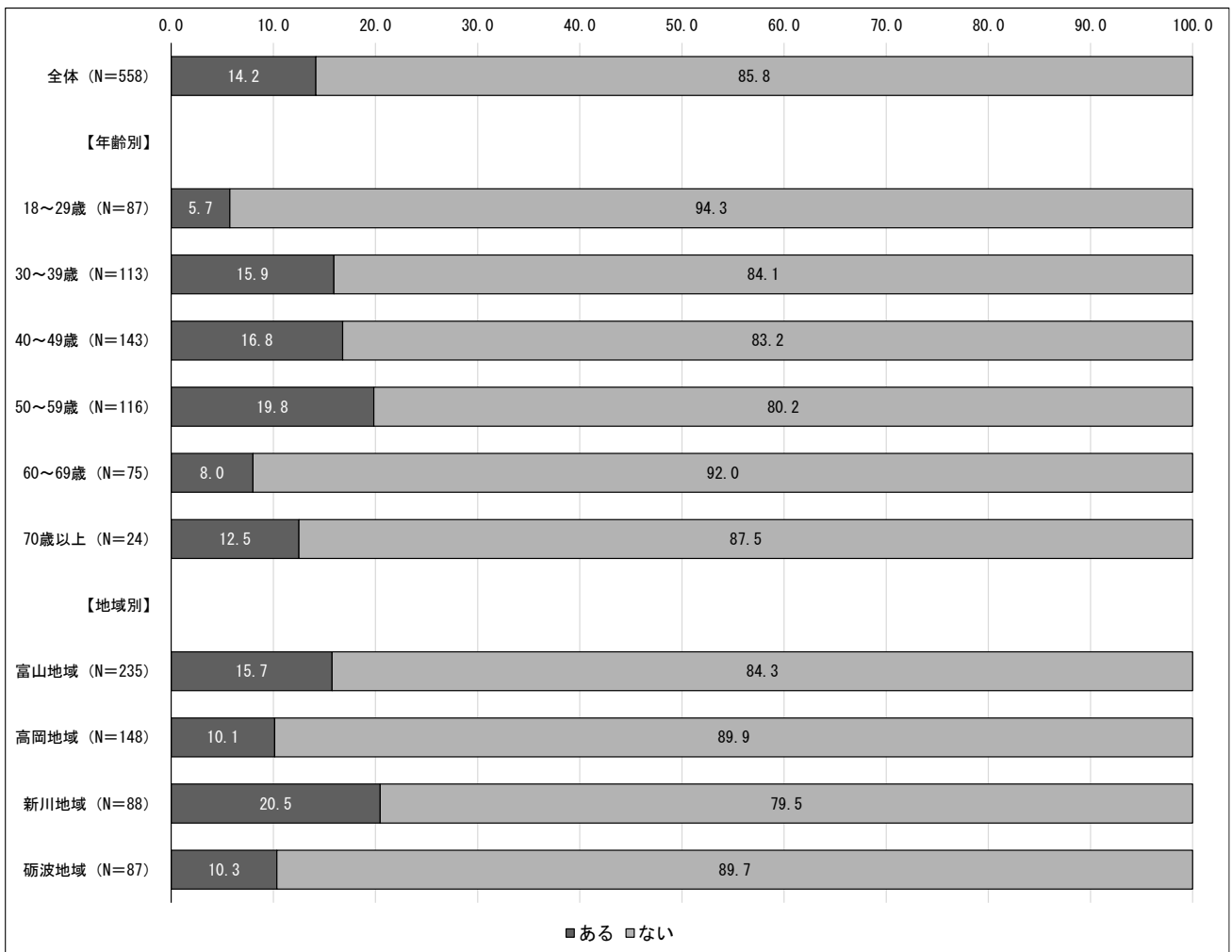
問 15. 「富山県動物管理センター」のホームページを閲覧したことがありますか。

「富山県動物管理センター」のホームページ閲覧の有無は、「ない（閲覧したことがない）」が8割以上（85.8%）を占めている。

年齢別にみると、18～29歳、60～69歳は、「ない（閲覧したことがない）」が9割（94.3%、92.0%）を越えている。

地域別にみると、新川地域は「ある（閲覧したことがある）」が約2割（20.5%）と高くなっている。

図表. 「富山県動物管理センター」のホームページ閲覧の有無: 単位 (%)



富山県動物管理センター
【とやま動物愛護】ホームページ



富山県動物管理センター
公式 Instagram

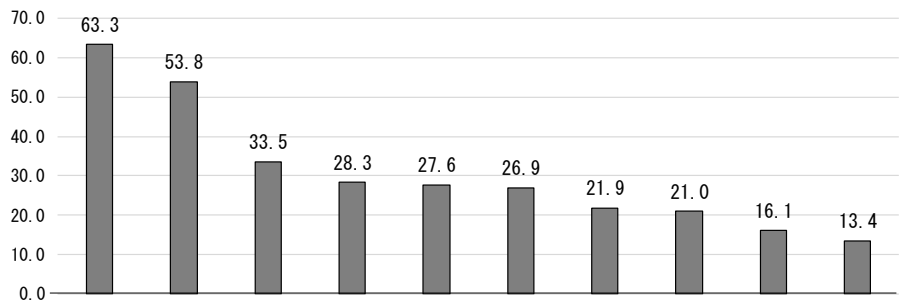


問 16. 今後、動物管理センターに、どのような施設・設備の充実を図ればよいと思いますか(5つまで選択可)。

動物管理センターに充実を図る施設・設備の要望は、「譲渡動物を自由に見学できる部屋」(63.3%)、「譲渡動物とふれあえる部屋」(53.8%)が5割以上と高くなっている。

年齢別にみると、70歳以上は「譲渡前の動物に不妊・去勢手術を実施する手術室」が半数(50.0%)となっている。

図表. 動物管理センターに充実を図る施設・設備の要望:単位(%)



	譲渡動物を自由に見学できる部屋	譲渡動物とふれあえる部屋	社会見学などに対応できる施設	社会科見学などに対応できる施設	譲渡前の動物に不妊・去勢手術を実施する手術室	ボランティアが活動できる部屋	現在よりもたくさん動物を保護できる部屋	ドッグラン	多目的ルーム(イベントなど開催場所)	災害備蓄倉庫
全体 (N=558)	63.3	53.8	33.5	28.3	27.6	26.9	21.9	21.0	16.1	13.4
【年齢別】										
18～29歳 (N=87)	58.6	55.2	35.6	27.6	17.2	23.0	31.0	23.0	14.9	12.6
30～39歳 (N=113)	60.2	58.4	31.9	21.2	26.5	28.3	22.1	24.8	20.4	15.9
40～49歳 (N=143)	66.4	51.7	37.1	25.9	34.3	28.0	21.0	21.7	16.1	16.1
50～59歳 (N=116)	68.1	62.1	31.0	27.6	22.4	27.6	20.7	19.0	15.5	12.1
60～69歳 (N=75)	68.0	40.0	29.3	42.7	29.3	28.0	13.3	10.7	10.7	9.3
70歳以上 (N=24)	37.5	41.7	37.5	37.5	50.0	20.8	25.0	33.3	20.8	8.3
【地域別】										
富山地域 (N=235)	60.9	51.9	31.9	27.7	29.4	27.7	23.0	26.0	17.4	15.3
高岡地域 (N=148)	63.5	54.7	35.8	25.7	31.8	27.7	22.3	13.5	14.9	10.1
新川地域 (N=88)	65.9	48.9	28.4	27.3	20.5	25.0	22.7	21.6	12.5	17.0
砺波地域 (N=87)	66.7	62.1	39.1	35.6	23.0	25.3	17.2	19.5	18.4	10.3